

## 平成30年度2月教育委員会 会議録

開催日時	平成31年2月27日(水) 15:00~17:00	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、綾野克紀委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐、石原知子係長 大部桂嗣主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 教育長あいさつ</li> <li>2 議事・報告案件 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「早島町公民館の管理・運営・施設等の在り方について」</li> <li>(2) 深砂公演テニスコート等の使用量の改訂について</li> <li>(3) 町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について</li> <li>(4) 早島町立早島幼稚園給食提供業務について</li> <li>(5) 義務教育学校に向けての整備検討について</li> <li>(6) その他</li> </ol> </li> <li>3 連絡</li> </ol>	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

### 会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：3月4日から3月議会が始まります。部活動指導員の公募をしていましたが、バスケット・吹奏楽部に良い方が来てくれ、面接・研修後、学校に派遣しました。3月10日は、平田オリザさんのお越しいただき、人権教育講演会を行う予定で、シンポジウムでは福祉を学んでいる中学1年生が質問をしたいと楽しみにしています。保護者の子育て支援を行うため家庭教育支援チームを作り、来年度から始動する予定。チーム名は「すくすくハート」に決まった。子育てサロンの一覧表を作成し、配付予定。3月24日は「ロゲイニング大会 in はやしま」が開催されるが、素敵なパンフレットが作成できた。3月9日親育ち応援学習プログラムファシリテーター養成講座を開催し、12名の方が講座を受講するが、ファシリテーターを増</p>
---

やしていきたい。3月2日の「教育の町はやしま子どもフォーラム」には、ぜひ参加していただき、子どもたちにメッセージを贈っていただきたい。本日はよろしくをお願いします。

## 2 議事・報告案件

### (1) 「早島町公民館の管理・運営・施設等の在り方について」(案)

教育長：検討懇談会で、新たな公民館の在り方について提言をまとめ、3月28日に町長さんに会長から手渡すことにしている。その前に、広く町民の方から、パブリックコメントを募集している。

黒木課長：人に優しい公民館、生涯学習の拠点としての公民館、学校・家庭・地域社会の連携拠点としての公民館、複合施設としての公民館、地域コミュニティの拠点としての公民館、防災拠点・避難所としての公民館など、6つを基本的な考えを示し、先進地を見たり様々な視点から意見を求めた。

教育長：新しい公民館の在り方について、提言をもとに意見を広く集めているところであり、何かご意見があればいただきたいと考えている。

全教育委員：気がついたことがあれば出したい。了解した。

### (2) 深砂公演テニスコート等の使用量の改訂について

教育長：前回ご意見をいただいたが、その後検討を重ね、皆さんの意見を踏まえ、受益者負担も考慮し、深砂テニスコートの使用料金を1時間500円とした。照明は1時間400円とした。芝生を新しくすることで、今回料金改定を行ったが、その他については、消費税が上がることも鑑み、来年度、社会教育委員会等とも相談しながら、施設料金の見直しを検討していく。

全教育委員：了承した。

### (3) 町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

黒木課長：第7条（許可の制限）について、改正をした。「政治または宗教的活動に利用する恐れがあると認められるもの」についてを削除したい。

綾野委員：支障があると誰が認めるのか。町長なのか教育長なのか。

教育長：教育委員会となっている。

竹井委員：倉敷も岡山も宗教団体が自由に使える。宗教行事で使えないのは早島町だけだ。

教育長：誰もが自由に使ってもらえるように改正を行いたい。これでよいか。

全教育委員：了承した。

### (4) 早島町立早島幼稚園給食提供業務について

貝畑課長：業者選定をプロポーザル方式により実施する。対象は、4・5歳児。最初は、

お弁当箱での提供を考えているが、様子を見て、配膳が可能ならば変更していく。アレルギーについては事前に調査を行い、対応できる範囲で対応する。安全が一番であり、十分配慮していくが、家庭でのお弁当になる場合は給食と同じお弁当箱お渡しし、それに詰めてきていただく。給食費の保護者負担額は、月額2000円を集金する。中学校等の調理場で調理することも考えられたが、給食の開始時間の違いや、人員の関係で難しいと判断した。

教育長：保育園では、5歳児で配膳をしている園もあるが、まずは、給食になれるために、温かいお弁当、汁はその場でつけて提供するよう考えている。

地産地消、栄養面を考えて業者をプロポーザル方式で選定していきたい。

3歳児も給食をという声も一部あるが、まずは、初めての集団生活に慣れるため、ご家庭の手作り弁当で食べる量を調節したり、箸を上手に使うって食べる習慣づけを行っていきたくと保護者には説明をしている。

栗坂委員：ご飯がメインになるか。

教育長：どの業者になるかは分からないが、玄米が入っているご飯の業者もあるようだ。給食メニューは豊富で、野菜もたくさん入っており、魚や肉などもバランス良く食べられるよう工夫されている。保護者の願いを踏まえて、好き嫌いなく食べられるよう食育につなげていきたい。今後、給食のやり方は先生方と工夫しながら、園児や保護者のためになる給食を推進したい。

全教育委員：ぜひ幼稚園での給食を進めてほしい。

#### (5) 義務教育学校に向けての整備検討について

教育長：義務教育学校の導入については、平成28年3月に、早島町の有識者からなる、「早島町一貫教育検討委員会」で熱心な協議を重ねていただき、本町が義務教育学校を導入することはメリットがあるとの報告書をいただいた。小学校文化と中学校文化のギャップを埋めて15歳の春を見据えた、切れ目のない教育をするためには、義務教育学校にすることが理想だと考える。先進校を視察するなど何度も検討した結果、一体型にする方が良いと思うが、隣接や分離型でも施設の工夫次第で満足度を上げることはできる。それも踏まえて、来年度は、施設部会やカリキュラム部会を立ち上げ、検討をしていく。町長さんが、文部科学省に行き、義務教育学校に向けて陳情してきた。できれば、中学校の敷地を使用して義務教育学校にしていきたいという方向もある。それらを含めて、施設部会で検討していく。

大森委員：総社市も義務教育学校にすると聞いたことがあるが。

教育長：全国では、学校規模の大きい学校でも義務教育学校を検討している市町があると、文部科学省で聞いた。未来の早島の子どもたちのために、校舎が老朽化していく中で、まずは義務教育学校の新築もしくは改築・増築を模索することは適当であると考えている。また、義務教育学校にするしないではなく、一貫教育の推進に

については小中カリキュラムの構築等も含め、進めていくことに変わりはない。

竹井委員：基金を取り崩すという考えは町長にはないのか。40億を予算化するの難しい。どうしたら実現できるか知恵を出し合うことが大切。

大森委員：丸亀町商店街では、マンションにお年寄りが入ればクリニックができる。病院に行かなくても良いというアイデアを出した。

竹井委員：学校にIT企業を誘致して家賃をもらうなど、アイデアが大切だ。

教育長：予算も含め、今後、施設部会で検討が必要。

綾野委員：施設部会は、お金がついてから考える方がいいのでは。20億を生み出そうとするなら、1年に1億の税収を生み出すことが必要。早島町では高さ制限をなくしてマンションを建てるとか、駅の周辺を開発するとか。何ができるかを考えないと今のままでは難しい。

竹井委員：ありとあらゆる可能性を考えることが必要だ。

綾野委員：大事なアイデアはお金を払わないと出てこないのでは。

竹井委員：設計が一番大切。教育委員会だけが義務教育学校にしたいといっても動かない。

大森委員：早島町の資産で使っていない施設や土地を売って活用していくべきではないか。

綾野委員：土地を売って、活用して税収を得ないといけない。

教育長：予算をいかに生み出すかも含めて、様々な視点から考えていきたい。

大森委員：昔、ゆるびの舎や幼稚園の建設も批判はあったが、元町長の熱い思いで生まれた。議員も良いアイデアを出してほしい。

栗坂委員：義務教育学校のメリットと予算を考えたときに、メリットが十分に認識されていないため予算が問題になるのではないか。第2案の5・6年生が中学生と学ぶことの意義は非常に大きい。高学年の子どもたちの実態を見たときに、中学校の専門的な先生の授業を受けることは大切である。小学校のように一人担任だと不応を起すことがある。いろんな世代の先生に教えてもらうことは非常に意味がある。小学校の中でできることは限られていて、ひとつ殻を破っていくことは、大切だと思う。

竹井委員：議員さんを納得させるためには、具体案が必要だ。お金さえあれば、何の問題もない。お金を生み出すアイデアがあればよい。

大森委員：文部科学省だけをあてにすることができない。国交省とか他にもあたってみる。

綾野委員：国をあてにするのではなく、自治体で税収を上げる工夫をしなければ、国もお金がない。築50年の学校を何の施策もなく放置していたのが問題だ。町として行政の怠慢とも言える。今後50年学校がもたないことは誰でもわかること。今の町が放置すれば、問題が先送りになるだけ。町民は税金を納めているのだから、施策を考えるのは行政の仕事である。

大森委員：被災に関する義捐金は岡山県だけで125億円集まった。集まるどころには集まる。

綾野委員：ふるさと納税も、ひとつのアイデアかも。

教育長：今後も検討を続けていきたい。

#### (6) その他

教育長：平成30年度学校評価アンケート結果について。学年があがるにつれて、「学校が楽しい」という項目についてやや低くなる傾向があるが、小6では上がっている。「苦手な教科の勉強をしている」という項目については、昨年度と比べて、下がっている学年が多いのが気になる。

綾野委員：中学1年生では、「相談できる先生がいる」という項目が、小学6年生のときと比べて大きく下がっている。やはり連続性は必要である。

教育長：数値が示すエビデンスを見ていくことは大変重要。学習に関しては、春休みに「ワクワク算数やる気満々教室」を開催する予定。岡山大学の岡崎先生や大学生にサポートをお願いすることになっている。算数のおもしろさや魅力を児童に伝えたい。

### 3 連絡

- ・臨時教育委員会 3月13日(水) 卒業式終了後 場所：早島中学校会議室
- ・3月教育委員会 3月22日(金) 15時～17時 開催予定